

いっぱん質問

行政の考えを問う



宮原 由光 議員 熊ヶ畑地区の産業廃棄物処理施設の今後の対策について	9P	田淵 千恵子 議員 環境行政について	9P
田上 孝樹 議員 買い物弱者支援について	10P	中村 春夫 議員 環境行政について	10P
梅永 茂美 議員 施政方針について	11P	永水 民生 議員 市バス事業について	11P
佐藤 道彦 議員 嘉麻市の将来像について	12P	吉永 雪男 議員 観光施策について	12P
山倉 敏明 議員 施政方針について	13P	荒木 紘子 議員 まちづくり、ひとづくりについて	13P
田中 日本明 議員 高齢者福祉の取り組みについて	14P	新井 高雄 議員 産業廃棄物処理場拡張に市民は納得していない	14P
藤 伸一 議員 ごみの有料指定袋について	15P		

紙面の都合により、いっぱん質問の内容を680字以内でまとめています。

質 福岡県は産業廃棄物税を課税しているが、納める額は幾らか。
坂本環境課長 最終処分施設へ搬入した場合は、1トン当たり1000円、焼却施設へ搬入した場合は、1トン当たり800円である。
質 この税は産業廃棄物の排出抑制とリサイ

宮原 由光 議員

熊ヶ畑地区の産業廃棄物処理施設の今後の対策について

問. 協定書は、業者に全部任せるのか、誰が守るのか。

答. 協定書を守らなければ業者に非がある。それは幾らでも追求される。



宮原議員 (山田)

クルをさらに促進するために納める税であるので、紛争防止のために費用を充ててもいいはずである。
 そのところを市から県へ申し出て、積極的に取り組んでいただきたいが、その姿勢があるのか。

福岡市長 市としては、現に被害が生じるといふことがなければ、非常に対応しにくい。

質 福岡県市長会総会で追加提案された「福岡県産業廃棄物処理施設の設置に係る紛争の予防及び調整に関する条例の運用改定」について、有効に使っているのか。
市長 当然今後も条例改正を求めていく。

私が全国市長会等で発言した際、公的施設を徐々につくらなくてはならないと国の部長からも回答を得ているが、直ぐに改善されていないのが現状である。
 今後、この産業廃棄物処理場は何と言っ



も必要である。
 県は指導していると言っただけで、県に許認可権があることで、多くの自治体が苦勞しているという状況を説明しながら、改善に向けて今後取り組みなくてはならない。
質 この協定書は誰が今から守るのか、業者に全部任せるのかが大仕事である。誰が立ち入りし、どうするのか。
 今まで立ち入りできなかった産業廃棄物処理場と結んだ協定書を危ういと思うが、市長はどのような考えを持っているのか。
市長 もし協定書を守らなければ、業者に非があることになり、幾らでも追求される。

田淵 千恵子 議員

環境行政について

問. 指定ごみ袋の容量10%削減による実質的値上げについて

答. アンケートを実施し市民の意見を尊重する



田淵議員(嘉穂)

質 市内のごみの収集形態はどのようなになっているのか。
坂本環境課長 稲築地区と他の地区では処理する施設が異なるので、稲築地区では5種類、他の地区では6種類の指定袋で収集している。合併前の形態を継続しているので、収集委託料・収集回数に標準化を検討するとともに、

分別方法も検討しなければならぬと考えている。
質 行政の責務は。
環境課長 一般廃棄物処理の一端である収集運搬においても作業の方法改善を図り、最小の経費で最大の行政サービスを図らねばならないと認識している。
質 第2次行政改革実施計画では指定袋を見直す項目があがっているが、指定袋の見直しを行うきっかけは何か。
環境課長 第2次行政改革実施計画の策定にあたって、素案作成部会より提案されたが、経済状況等を勘案し、価格は現状のままで規格の見直しを打ち出した。

アンケート等で十分市民の状況を把握し、検討したいと考えている。
質 指定ごみ袋の容量を10%削減する意図は。
環境課長 嘉麻市は50リ、近隣市町の多くは45ないし40リであるし、収集作業員の事故防止も考慮したところだ。
質 肉や魚を入れてい

るトレイの回収を販売業者にお願ひするなど、工夫しリサイクルを推進すればごみの減量につながると思うがどうか。
環境課長 資源ごみリサイクルは、法はもとより、リサイクル活動団体奨励補助金・生ごみ処理容器等購入補助金制度の活用をし、推進に取り組んでいる。トレイの回収も費用対効果を勘案し取り組みたい。
質 美しいまちづくりの視点からごみ袋の現状維持を望むが市長の見解は。
市長 指摘の点は総合的に勘案し、協議・改善を図りたい。



嘉麻市指定袋



田上議員 (山田)

田上 孝樹 議員

買い物弱者支援について

問. 事例を参考にモデル地区を立ち上げ、市バスを活用してはどうか

答. 先進事例を参考に、具体的に事業実施に向け考えていきたい

質 買い物弱者対策については12月議会でも質問したが、昨年12月末に下山田のスーパーが閉店したことに伴い、高齢者を中心に買い物に対する不安が一層高まっているが、このような現状をどう認識されているのか。

松岡市長 本市の高齢化率も高まっていくばかりで、施政方針でも述べているように、買い物弱者対策については十分対応していかなくてはならない。
質 経済産業省が策定した「買い物弱者応援マニュアル、買い物弱者を支援していくために」では、買い物弱者を応援する方法として、身近な場所に店を作ることで、家まで商品をお届けること、人々が出かけやすくすることが必要であると、全国各地の取組事例が紹介されている。
ミニスーパー事業、移動販売事業などを立ち上げる上での課題や問題は。
松岡産業振興課長 販売を目的とした事業については、行政自らが販売することは困難であり、事業主体となる販売者が必要である。
嘉麻市においては、現状維持が精一杯の事業者が多く、新たな事業展開を求めることは



難しいと思う。
商工会議所、商工会、商店街の協力を得ながら販売業者の確保に努めたいと考えている。
質 市バスを活用して、買い物に適応した運行形態や臨時便を組み込めないかと考えるが。
松本総務課長 どの程度の要望、利用があるかも聞きながら、嘉麻市地域公共交通会議等で議論したい。
質 買い物困難地域において、ミニスーパー事業をモデル地区として立ち上げてはどうか。
産業振興課長 先進地の事例を参考に、モデル地区の検討を踏まえ、具体的な事業実施に向けて考えていきたい。

中村 春夫 議員

環境行政について

問. 産廃場拡張計画をどう考える

答. 権限は県にあり、公平公正な立場で見守るしかない



中村議員 (山田)

質 先日、産廃場拡張反対の看板等がなくなりましたが、市が撤去したのか。
大神住宅公園課長 市では年に一度道路敷きなどに不法に設置された広告物を撤去している。産廃拡張反対の看板だけを撤去したわけではない。民有地にあるものについては、市は撤去していない。
質 熊ヶ畑不法投棄ゴミ問題及び百々谷産廃場問題について進展はあるのか。
坂本環境課長 どちらも新たな進展はない。
県は業者への改善指導や周辺地下水等の水質検査を継続して行っていること。市としては、県の積極的な対応と水質検査の記録の提出を求めている。
質 熊ヶ畑産廃場への市の立ち入り調査、県の定期的立ち入り調査の報告書、現在の残容量は。
環境課長 本年度は3月、6月、12月に立ち入り調査を行った。今後も定期的に行う。報告書については、平成18年から22年度までの5カ年分がある。残容量は不明だが、県による月2回の現地確認で異常はないとのことだ。
野上市民環境部長 残容量の数値には疑問が

あるのか。
あるのか。県に対し明確な数値を求めていく。
質 熊ヶ畑産廃場の拡張申請の状況は。
環境課長 県は昨年12月27日付で施設の変更申請を受理している。
今後は、県の告示、意見提出期間を経て、専門有識者による意見聴取後、拡張操業許可という流れとなっているが、まだ県による告示はされていない。
質 多くの市民が反対しているこの拡張問題に対し、市長はどう考えるのか。
松岡市長 許認可権は県にあるので、市長としてはあくまで法律に従い、公平公正な立場で見守るしかない。



東日本大震災で被災された方々に哀悼の意を表します。

質 棚田で作られる米は収穫量が少ないが、非常に美味しいと評判である。

市内の山間地では、耕作放棄で放置されている棚田が多いため、

梅永 茂美 議員

施政方針について

問. 棚田米の生産を助成し、「子育て支援米」としてブランド化してはどうか

答. 嘉麻市のPR方策として、十分検討していきたい



梅永議員（稲築）

質 杉、ヒノキを利用した校舎で教育をする教育的な効果は。

豊福教育委員長 木のぬくもりを感じることは子どもたちにとって大切なこと。嘉穂地区の統合小学校建設にあたっては、嘉穂中学校の例にならって、できるだけ木材を使用する方向で考えている。

質 棚田米を「子育て支援米」としてブランド化してはどうか。

市長 大変いいアイデアだと思う。嘉麻市のPR方策として、十分検討していきたい。

質 杉、ヒノキを利用した校舎で教育をする教育的な効果は。

豊福教育委員長 木のぬくもりを感じることは子どもたちにとって大切なこと。嘉穂地区の統合小学校建設にあたっては、嘉穂中学校の例にならって、できるだけ木材を使用する方向で考えている。



棚田（嘉穂地区）

質 プールにヒノキ材を使用してはどうか。

市長 今後、十分調査研究が必要である。

質 企業誘致を推進するため、光ケーブルのインフラ整備に早急に取り組んでもらいたい。

市長 早急に考えていかなければならない。

質 トイレの改造など引越しやすい住環境を整え、老朽化した市営住宅の対策に取り組む必要があるのでは。

市長 総合的に考えて対応したい。

質 不登校問題に対する今後の取り組みは。

市長 全教職員で新しい不登校を生み出さないよう取り組んでいきたい。



永水議員（稲築）

永水 民生 議員

市バス事業について

問. 稲築地区福祉バスを市バスに移行できないか

答. 十分な協議が必要と思う

質 以前、稲築地区の60歳以上の方等に利用者が限定されている福祉バスを誰でも利用できる市バスに移行できないかという質問をしたが、西鉄バスとの競合の部分もあるので難しいとの回答だった。

今度、稲築地区の一部路線が廃止になるという話を聞いたが、把握しているか。

松本総務課長 現在、上山田から飯塚方面に行く路線は山野経由と上三緒経由の2路線があるが、4月1日から山野経由の路線は廃止となり、鴨生口交差点から稲築中学校までの区間は、西鉄バスの運行がなくなることとなる。

質 その区間は、スーパーや薬局などもあり交通量も多い。西鉄バスがなくなると、市民は買い物袋を提げて交通量の多いところを歩いて帰ることになるが、福祉バスを利用できない方のためにも市バスへ移行する考えはないか。

坂口社会福祉課長 福祉バスの目的は、高齢者の方等が福祉施設に行くためのもので、市バスとは性格が異なる。また、最寄りのバス停から乗車し、それぞれの目的地で降りるようにはできないかとの要望もあるし、乗車率が低い現状もある。しかし、

クリアすべき問題もあり、無料の福祉バスを市バスに移行すると有料となることや、地元との協議調整も必要になってくる。いずれにしても、市民の移動手段の確保という観点から、総体的な運行形態を考慮しなければならぬし、福祉バスを市バスに移行するには全庁的な協議が必要だ。

要望 市民の移動手段の確保のために関係各所での十分な検討をお願いしたい。

※ このほかに「市営住宅の特定入居について」質問しました。



福祉バス（稲築地区）

佐藤 道彦 議員

嘉麻市の将来像について

問. 合併支援措置の無くなる平成28年度以降の財源確保はどうするのか

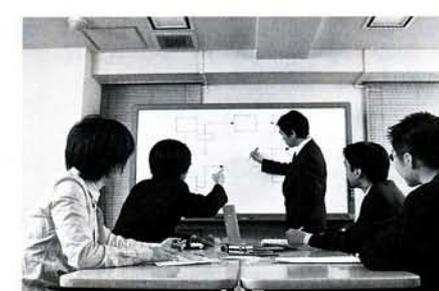
答. 嘉麻市の将来を見据えて対応していく



佐藤議員 (嘉穂)

質 合併優遇措置のある平成27年度までの10年間は黒字財政であるが、以後大幅な財源不足が生じる。財政見通しによれば10年後の平成33年度には、平成22年度と比較し、実に約55億円の歳入減の先細り予算である。嘉麻市

の自主財源比率は19・6%しかなく、30%台である近隣市と比較すると大きな違いがある。また、人口も急速に減少し、このまま行けば10年後には人口3万5千人台になり、老人と福祉のまちななるのではないかと心配している。将来に向けてこの財政難、人口減少など何ら明るいものは見当たらないが、現在過疎対策、合併特例債など合併優遇措置のある中、嘉麻市の集大成として自主財源確保、財政の建て直しを図ったかどうか。



松岡市長 「人づくりはまちづくり、まちづくりは人づくり、人が育たないと嘉麻市の活性化もない」という信念のもとに、現在市政を進めている。何も進めなければ嘉麻市の将来はない。財政は厳しいがいろんな戦略を構築している。また、自

治基本条例も制定されたことから住民の意向など十分受け入れ、今後将来に向けて魅力あるまちづくりを構築していきたい。

※ 他に、中山間地域対策について質問しました。

吉永 雪男 議員

観光施策について

問. 低料金の宿泊施設をつくってはどうか

答. 今後考えていきたい



吉永議員 (山田)

質 飯塚市では、伊藤伝右衛門邸や嘉穂劇場などに多くの観光客が訪れているが、嘉麻市においても、山野の楽や梅林公園、益富城、琴平文化館などの多くの文化財や文化施設に加え、カッホー馬古屏や道の駅うすいなどの直売所もある。飯塚市と連携し、観光ルート

を整備してはどうか。

市長 福岡県と飯塚市、桂川町、嘉麻市で嘉飯都市計画活性化会議を構成し、広域的に観光ルートを整備する構想は持っている。今後、しっかりと広域的な結びつきを持って進めたい。

質 ただ、嘉麻市には宿泊施設がないので、一泊5,000円程度で宿泊できる施設を、良い温泉の出る熊ヶ畑につくってはどうか。

市長 嘉麻市においては、観光のみならず、県レベルや九州レベルの大会が開催されているが、宿泊施設が少なく、民家や料亭等を利用してはいる現状もあるので、温浴施設と合体した宿泊施設ができれば非常に良いと考えている。指摘の点は、今後考えていきたい。

少子化対策について

質 豊前市では出産祝金として第2子10万円、第3子20万円分の商品券を支給している。嘉

麻市においては地方交付税が一人当たり約20万円国から交付されている計算になるので、少子化対策として第3子20万円、第4子50万円、第5子については100万円というように祝金を支給してはどうか。

松岡市長 国のほうも子育て手当等いろいろ考えてはいるが、嘉麻市は、子育てナンバーワンを目標にしているので、指摘の点については前向きに検討したい。

※ このほかに「市営住宅政策について」質問しました。



白雲荘(山田地区)



山倉 議員 (稲築)

山倉 敏明 議員

施政方針について

問. 稲築公民館で催し物がある際、2階へ上がるのに非常に困る

答. 空き部屋等も利用して、利用者の利便性を図りたい

東北地方を襲った巨大地震によって、亡くなられた方々に哀悼の意を表しますとともに、被災された方々に心からお見舞い申し上げます。質 合併して丸5年を迎えようとする今日、人口が3322人減少している現状をどのよ

うに受け止めているか。福田企画調整課長

人口減少が著しく、このまま推移すると5年後の国勢調査で4万人を下回ることが想定されるため、強い危機感を感じているので、何らかの対策・施策を講じなければならぬと考えている。

質 急速な人口減少による普通交付税への影響額はどの程度か。中嶋財政課長 約1億6千万円程度である。

質 人口減少を防ぐため、具体的に魅力あるまちづくり施策に取り組み考えはないのか。女性ネットワークの団体への補助金が削減され、活動資金に困っている状況と聞き及んでいる。補助金を一律削減するのではなく、面談の上、補助金の見直しをする必要があるのではないか。

企画調整課長 男女共同参画推進条例を施行し、団体を支援していく条項の中で、補助金



稲築公民館

だけを一方的に削減することに疑問を感じているので、今後どのように活動が展開されるのかを十分加味しながら対応したいと考えている。

質 稲築公民館で催し物がある際に、2階へ上がるのが非常に不便であるということだが、山口生涯学習課長 稲築公民館は、築年数もかなり経過しており、バリアフリー等の対応も不十分である。2階に会議室が多いので、空き部屋等を利用し、利用者の利便性の向上を図りたい。

意見 利用する団体と十分話した上で、対応してもらいたい。



荒木議員 (稲築)

荒木 紘子 議員

まちづくり、ひとづくりについて

問. 人間形成の一番大切なものは

答. 人を大事にし、感謝の気持ちを常に持つこと

質 今学校では、学習と基本的なしつけにもエネルギーを使っているようだが、小中学校の道徳教育の内容は。木本学校教育課長 文部科学省配布の学年に応じた教科書「心のノート」のほか教科書会社の資料を用いて、1週間に1時間、年間35時間以上、道徳の授業を行っている。

質 中国の日本人学校では、道徳を盛り込んだ古典文学を音読の教材に加え、低学年から慣れ親しみ、成長過程の中で自分のものにしていくようだ。

また、県内でも、独自の教科書を作成している自治体もあるが、嘉麻市も市独自の教材を作成してはどうか。

松岡市長 我が市でも保育園や幼稚園で、そういう取り組みをやっている所もある。身近なものを提供し、考えることや道徳的心情が高まるようなことが重要だと考える。

今後、学校や家庭教育も含めて取り組んでいく問題と考えるが、児童の実態に応じてやるのが一番だ。

要望 実態から一歩ずつ積み重ねていく部分も重要だが、理想を加味した教育であってほしい。

質 教育センターの内容と成果は。学校教育課長 センター化により、カウンターや引きこもり訪問



教育センター

指導員、適応指導員による学校支援が充実し、教職員向けの研修会は延べ912名の参加があり、教職員の意識の高まり、指導力の向上が見られる。

昨年度は不登校の児童生徒105名に対応した。

質 「早寝、早起き朝ご飯」に加えて人間形成の基本理念は何か。市長 人を人として大切にし、常に感謝をもつて対応することだ。

要望 自分の生命を大事にすると同時に周りの人の生命も大切にすること。

そういう優しく思いやりのある嘉麻市民を育ててほしいと願う。



田中議員（碓井）

田中 日本明 議員

高齢者福祉の取り組みについて

問. 休止あるいは廃止施設を高齢者福祉に活用できないか

答. 条件がクリアできれば活用したい

質 高齢者福祉の位置づけは。
質 高年齢者介護課長 健康やかで、安心・安全なる生活の保障である。
質 嘉麻市の高齢者人口の今後の見通しは。
高年齢者介護課長 5年後の高齢化率は38%に達すると思われる。

質 高齢者対策としてどんな事業に取り組んでいるのか。

高年齢者介護課長 介護保険事業、在宅高齢者の生活支援のための高齢者福祉事業、敬老祝金等の敬老事業、要援護者及びひとり暮らしの高齢者あるいはその家族に対する生活支援や助成金支給事業、介護予防のための出前講座等に取り組んでいる。

質 高齢者対策事業の対象者はどの程度か。

高年齢者介護課長 介護保険事業の約900人、及び65歳以上の市民1万3千人である。

質 高齢者人口増加に対する受け入れ体制は。

高年齢者介護課長 介護保険事業では、高齢者人口に見合った介護支援専門員が必要となる。

質 地域包括支援センターの定義に、事前調査の必要性がうたわれているが。

高年齢者介護課長 通常から民生委員等と綿密に連携をとり、要援護高齢者の情報収集に努

めている。

質 高齢者対策は行政の重要課題だと思いが。

市長 連携を深めて取り組んでいきたい。

質 高齢者が健やかな老後を過ごせるだけの施設が充足しているか。

市長 充足していない。

質 公共施設の統廃合が計画されているが、廃止あるいは休止施設の管理費用等を考えると、高齢者対策のために再利用できないか。

市長 条件がクリアできれば活用したい。

要望 行政が高齢者対策すべてを網羅することは不可能に近いが、高齢者が健やかな老後を過ごせる施策に取り組んでもらいたい。



新井 高雄 議員

産業廃棄物処理場拡張に市民は納得していない

問. 住民説明会開催を業者に要請する

答. 過ぎたことだ

廃棄物は、一度広げて安定5品目以外のものが混入していないか確認することになっているが、福岡県の指導・指摘にもかかわらず、展開検査したという結果報告は見当たらない。だから、市民が不安や心配になるのは当然だし、住民説明会の開催を要請している。

市長は、全市民とのパイプを持っているのだから、産廃業者に市民の要望を住民説明会の開催を伝えることはできるのではないかと。

市長は、拡張計画反対の意思表示ができないとの考えであるので、私は、議会が福岡県に意見書提出のため、力を尽くす決意である。

福岡市長（住民説明会の）時期は過ぎている。

市が中止を求めた時、賠償金を求められた事例もある。

新聞報道によれば、業者側も住民説明会に応じることであり、申し込まれたらいいと

思う。

「住宅リフォーム助成制度」の創設、導入を

質 建設産業に働く市民は、仕事が少なく収入も少なくなっている。

一方、市民が住宅をリフォームするとき、市の助成制度があれば大いに助かる。

4月から、飯塚市は1千万円、桂川町は200万円の予算を組み、実施することになった。

同一の生活圏であるこの嘉麻市でも、住宅リフォーム制度の創設、導入を求める。

市長 6月議会にでもお願いする気持ちを持っている。



いっぱん質問

質 資源ごみの指定袋に極小袋の規格がないため、非常に使い勝手が悪いと、多くの市民から改善を求める声を聞いているが、坂本環境課長 規格の見直しについては、今後アンケート調査を行い、十分検討していく。

藤 伸一 議員

ごみの有料指定袋について

問. 資源ごみ(缶・ビン)の極小袋の導入は

答. 市民の意見を十分聞き、前向きに検討していく



藤議員(稲築)

質 高齢者世帯や一人世帯では、2〜3ヶ月に一回、資源ごみの収集日に合わせてごみを出しており、市民生活の衛生面の観点からも極小袋の規格を導入するべきと思うが。

松岡市長 市民の意見を十分取り入れ、前向きに検討していく。

保健行政について

質 乳がん・子宮頸がん検診の無料クーポン券の導入前と導入後の受診者数の推移は。

中村健康課長 乳がん検診では、導入前760人、導入後1228人と468人増加し、子宮頸がん検診では、導入前667人、導入後947人と280人増加している。

質 特に子宮頸がんは、定期的な検診とワクチン接種により、予防法を確立した唯一のガンと言われている。

嘉麻市においては、本年4月より、中学1年



嘉麻市指定袋(缶・びん)

生から高校1年生までの917名を対象に、全額公費助成が実施されることとなっているが、市民が安心してワクチン接種ができるように、ワクチンの安全性・有効性等の正しい情報を提供する必要があると考えるが、啓発の取り組みは。

健康課長 対象者に対して個別通知を行うとともに、緊急雇用創出事業を活用して、予防接種の啓発員を1名雇用し、学校や医師会、各医療機関と連携を図り、周知・啓発を今後進めていきたい。

※他に、配食サービス事業の利用状況について質問しました。

東日本大震災へ支援を決定

嘉麻市議会では、3月11日に発生した東日本大震災の被災地に対し、「何か支援できることはないか」と、3月定例会中に急きよ議員互助会役員会、全員協議会で協議を行い、議員25名全員で一人当たり1万円、総額25万円の義援金を、全国市議会議長会を通じて支援することを決定しました。

また、物資の支援等についても協議を行いました。また、現地でも必要などの情報が不足していたため、物資の支援等は今後の課題とし、まずは積極的に献血に参加することとしました。

選挙カーの運行時間を短縮

3月17日に全員協議会を開催し、4月24日に実施される嘉麻市議会議員選挙が4月17日に告示され、選挙運動が1週間にわたり展開されますが、今回の選挙運動期間中、朝8時から夜8時まで認められている選挙カーの運行時間を、朝9時から夜7時までに短縮して実施することを申し合わせました。

